

Vericut の導入により、 業務効率を改善された 事例をご紹介します。

多くの企業がVericutを選び、加工効率を向上しています。

CNCシミュレーションソフトウェア Vericutは、実際の加工前に、PC上で機械加工シミュレーションを行い、機械部品・治具・工具の破損、またはCNCマシンの事故につながるミスを無くすることができます。また、ミスの排除だけで

なく、最適化モジュールによってサイクルタイムを短縮し、加工効率を改善できます。さらに、Vericutは切削モデルを利用した精確な測定や、インスペクション（検査シートの作成）など、多くの便利な機能も提供します。



単純ミスによって材料を無駄にしたり、工具やCNCマシンまでも損傷してしまう恐れがあります。

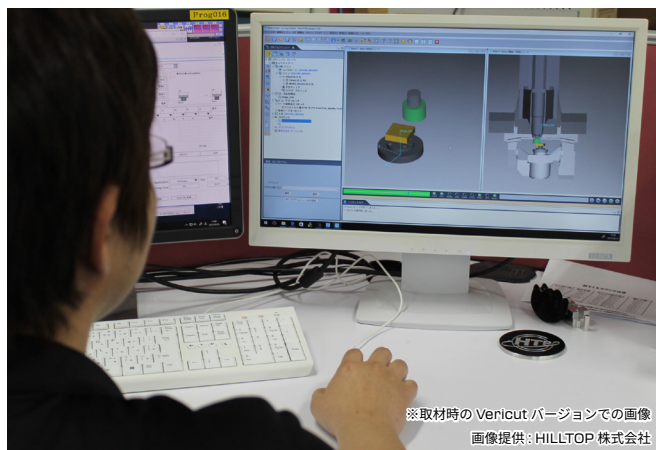
また、納期に間に合わなくなるかも知れません...

もし、加工現場でのトラブルを未然に防ぎたい、
と真剣にお考えなら、Vericutの導入をご検討ください！

CGTechについて

Vericutへの投資は、単にソフトウェアを購入するということだけではありません。この業界で最も先進的で発展性のある技術パートナーとチームを組むということなのです。

- » Vericutのシミュレーション技術を含む我々の製品は、すべて社内開発されています。そのため、開発者による迅速な変更や特別なカスタマイズを可能にしています。
- » 営業やテクニカルサポートなど、CGTech社員の定着率は非常に高く、世界中に代理店があります。これにより、お客様は経験豊富な担当者と長期的なビジネス関係を築けます。
- » CGTechは1988年に設立され、安定した運営を継続しています。ほとんどの国に、Vericutをよく知る多くのユーザーがいます。
- » CGTechは、製造業が直面する多くの課題を見えました。CGTechは、常に世界中で新しい製造方法や技術に触れているため、絶えず変化している産業界のニーズに素早く対応できます。
- » 世界中の多くの主要な会社から認定されたベンダーとして、CGTechは「ものづくり」において信頼できるパートナーであり続けます。



※取材時の Vericut バージョンでの画像
画像提供: HILLTOP 株式会社



HILLTOP株式会社

所在地 京都府宇治市大久保町成手 1-30
設立 1980 年 9 月 1 日
従業員数 92 名
業務内容 多品種小ロットのアルミ加工、
試作開発、装置開発
URL <http://hilltop21.co.jp>
HILLTOP System と呼ばれる生産管理システムにより、多品種・単品・24 時間無人加工を実現。高精度のものをスピーディに製作。切削加工から表面処理までトータルでサポート。

Profile

写真左：製造部長 清水 優氏
地元京都出身の入社 10 年目。元々ものづくりとは無縁の文系出身だが、入社以来製造畑一筋。マシンオペレータ、NC プログラマーなど一通りの経験を積み、今年から製造部長に就任。製造工程の管理・改善に日夜取り組んでいる。

写真右：製造部 井上 雄一郎氏
大学時代、同社へのインターンシップを経て、卒業後入社。研修でマシンオペレータを経験した後、NC プログラマーとして活躍する入社 6 年目。Vericut の立ち上げやシステムソフトの管理業務に携わる。社内では珍しい理系出身。

作業量、作業時間の大幅削減に効果を発揮

| 導入した経緯を聞かせてください

井上：一昨年複合加工機を導入して、積極的な活用を進めるなか、昨夏初めて Vericut を購入しました。会社の強みは、多品種単品部品を無人で次々と加工していくこと。無人での加工を実現するためには、シミュレーションソフトでの検証は必須です。徹底的に検証したデータを活用することで、事故が起こらない状態を作り上げています。ただ複合加工機となると軸構成が複雑。Vericut であれば、自分たちの期待に答えてくれると判断し導入を決めました。

清水：複合加工機の導入自体初のこと、新たな挑戦です。重複しますが、我々の基本理念は、シミュレーションをかけることで、マシンオペレータが実機での動作チェックをする必要のない無人の状態を作り上げること。それがアルミの多品種単品加工を手掛ける、わが社の強みのひとつでもあります。

| Vericut の魅力とは？

井上：一番のメリットは、複雑な加工が 100%再現できることです。それと細かい操作性に優れていると感じます。具体的には、CAD を使用している感覚での作業性、工具や G コード、M コードの設定しやすさなどでしょうか。

清水：我々の次のステップとして、切削体積により、削り過ぎなどのエラーを教えてくれる最適化機能（オブティパス）の活用を想定しています。プログラマーのレベルを均一に保つためにも最適化は重要な要素で、Vericut 導入の大きな目的の一つでもありました。最適化を第一に考えるのであ

れば、シミュレーションソフトの先駆者として専門性の高い Vericut は必要不可欠なソフトだと思います。

| Vericut はズバリどんなソフトでしょうか？

井上：工作機械を、文章データを印刷するプリンターのような存在と位置づけるならば、シミュレーション自体は、プレビュー画面ですね。印刷前にプレビュー画面を確認して、チェックや編集を行えば後は印刷するだけです。Vericut は再現性が高いですし、信頼度は抜群です。

| 導入検討中のユーザーに向けて一言

井上：感覚値ですが導入以降、実績ベースでマシンオペレータの作業量や作業時間が 8～9 割減りました。機械前での作業も大幅に減少し、材料や工具をセットし、ボタンを押すだけの状態に近づいています。NC プログラマーが、Vericut によるチェック作業をすることにより、全体作業量の 3～4 割は作業量が減っていると思います。実績としてここまで効果を上げられるソフトです。多くの機能を持った Vericut の能力を引き出すことにより、最高効率を実現できるソフトだと思います。

清水：シミュレーションをかける大きな目的、それは事故の回避です。Vericut 導入以降、事故もなくシミュレーション通りに、忠実に実機を運用することができています。他社との差別化を図りたい方々には欠かせないソフトですね。



様々な形状に対応する加工環境が整う。



多品種・単品・短納期のアルミ加工。



同時 5 軸加工で製作した展示会用のサンプル。